

近現代史(33) 世界分割と列強対立③「列強の二極分化とバルカン危機」

○今回のポイント

(1)いわゆる3B政策

①1890年 ドイツ、ロシアとの[1. _____]の更新拒否

↓

②1891 [2. _____] ⇒ ロシア、工業化の資本を得るために同盟

↓ フランスは外交的孤立を解消。列強関係は流動化

③ドイツとイギリスの対立

・ [3. _____]建設推進

・ [4. _____]…ベルリン、ビザンティウム、バグダートを結ぶ → イギリスの3C政策に対抗

・ [5. _____] → イギリスとの間で海軍拡張競争を展開。

(2)三国協商

①イギリス外交の転換

・ 従来：[6. _____]

→東アジアにおけるロシアの進出に対抗・・・1902 [7. _____]を結ぶ。

→ドイツの挑戦にそなえる・・・1904 [8. _____]を成立。

②ロシア外交の転換

・ 日露戦争での敗退→東アジアからバルカンへの進出策に転じる→独逸と対立

→イギリスと和解・・・1907 [9. _____]

英仏露は独逸を共通の脅威とみて、協力してそれぞれの植民地や勢力圏を守ろうとする。

三国協商

①[10. _____]における両国の勢力範囲を決める

②[11. _____]はイギリスの勢力範囲

③[12. _____]には不干渉 → 中国の主権

(3)ドイツ陣営 VS イギリス陣営

①イタリアの動き

・ 三国同盟の一員だったが・・・「13. _____」をめぐって伊墺間で対立

↓

・ フランスに接近

イタリア統一戦争後もオーストリアに残留した地域。南チロル・トリエステなど

②ドイツの動き

・ 三国同盟からイタリアが離れていく → ドイツは同盟国[14. _____]との安定重視

↓
・ イギリスとドイツをそれぞれの中心とする二つの陣営に分かれ、1910年以降軍拡競争。

(4)-1 オーストリアのバルカン進出

■オーストリアは多民族国家=国内にスラヴ系民族を内包 ←[15. _____]影響

↓

■オーストリア、[16. _____]などスラヴ系諸国に対抗し、バルカン半島進出

↓

■1908 [17. _____]勃発→ベルリン会議で管理権を得ていた[18. _____]併合
 ※青年トルコ革命に乗じて自治国ブルガリアはトルコから独立

(4)-2 バルカン戦争

●バルカン戦争(1912~13年)



■1912 [19. _____]結成
(ブルガリア・セルビア・モンテネグロ・ギリシア)

↓

※1911~12 [20. _____]
→バルカン同盟はトルコ侵攻へ

↓

■1912~13 第一次バルカン戦争
バルカン同盟 VS [21. _____]
の戦争。トルコが敗れ、ロンドン条約でイスタンブルを除く全ヨーロッパ領とクレタ島を奪われた。

↓

■1913 第二次バルカン戦争
第一次バルカン戦争での [22. _____]の取得領土が広大であるとしてセルビア・モンテネグロ・ギリシアが侵攻。ルーマニアとトルコもこれに加勢した。ブルガリアは多くの領土を奪われる。

↓

■敗戦国のブルガリア、トルコ
→[23. _____]に接近。

(4)-3 ヨーロッパの火薬庫



列強の二極化によるバルカンでの民族主義対立

[24. _____]VS[25. _____]

↓

バルカンにおける勢力変動による列強対立の悪化

[26. _____]VS[27. _____]

↓

[28. _____]